

令和8年10月7日

令和7年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人 札幌青葉学園 北海道看護専門学校
学校関係者評価委員会・自己点検評価委員会

学校法人 札幌青葉学園 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会は、自己点検評価委員会において作成された令和6年度自己点検評価報告書に基づき学校関係者評価を実施したので、以下の通り報告いたします。

記

1. 日 時：令和8年7月24日（金） 15時30分～17時00分
2. 場 所：北海道看護専門学校 3階多目的ラウンジ
3. 学校関係者評価委員会委員（敬称略）
 - <委員長>
千田 典子 医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院 看護部長
 - <委員>
市戸 理恵 医療法人溪和会 江別病院 看護部長
石川 陽太 株式会社メディカルシャッター 訪問看護リハビリステーション白ゆり中央 看護師
樋爪 昌之 樋爪昌之公認会計士事務所 所長
4. 事務局（自己点検評価委員会委員）
 - 田所 亮一 北海道看護専門学校 校長
 - 小松 恵治 同上 統括長
 - 川崎 恵子 同上 参事
 - 若月 佐知子 同上 教務部長
 - 小倉 藤緒 同上 教務主任補佐
 - 後藤 まふみ 同上 事務長
 - 荻野 健司 同上 学生支援室長・統括長補佐
5. 主な議事次第
 - 1) 委員長の選任
 - 2) 令和7年度自己点検評価報告書について報告および質疑応答
 - 3) 学校関係者評価
6. 学校関係者評価委員会評価結果 別添参照

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

1 教育理念・目標				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
1	1	中 項 目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）			
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3.8	3.5	・教育理念の浸透に向けた取組を引き続き図る。
1	1	2	学生・保証人に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	3.7		
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	3.7		
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	3.7		
1	2	中 項 目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）			
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6	3.82	
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.5		
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	3.6		

① 課題

- 1) 各種媒体（便覧、シラバス、HP等）への掲載による教育理念・目標の周知はされているが、教職員の
- 2) 事業計画を作成し、重点目標に反映しているものの、教員個々の教育目標と連動されているとはいえ

② 今後の改善方法

- 1) 教職員に、教育理念・目標をどの程度意識して教育活動をしているか定期的に評価（アンケートや面
- 2) 社会経済のニーズ等を踏まえた中期目標を立案し、教員の個人目標と連動させながら「PDCAサイク
- 3) 教育課程編成委員会等で得られた意見を、シラバスの改訂や実習内容の見直しなどに反映させる。

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

2 学校運営				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
2	1	中 項 目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）			
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.5	3.75	
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	3.5		
2	2	中 項 目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）			
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	3.6	3.88	
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	4.0		
2	3	中 項 目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）			
2	3	1	学校の運営規程等が整備され、それらに従って学校の運営会議等が開催されているか	3.8	3.88	
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.6		
2	3	3	組織機能図があるか	3.8		
2	3	4	運営会議、教員会議等が定期的に行われているか	4.0		
2	3	5	出退勤管理簿があるか	3.9		
2	3	6	教職員の健康診断がされているか	4.0		

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

2	4	中 項 目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）			
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.9	3.34	・授業アンケートについて、学生からの意見をより効果的に授業改善へつなげるため、実施方法や実施時期等を工夫し、回答率の向上を図ることが望まれる。授業ごとに簡易的な振り返りを行うことで、学生の理解度や要望を把握し、次回の授業に反映するなど、よりきめ細かな授業改善につながることを期待したい。 ・教職員研修について、能力・資質の向上につながる機会をより充実させるため、研修受講を促進する仕組みや、勤務時間内外における受講環境の整備、研修報告の簡素化等、教職員が継続的に研修へ参加しやすい体制の整備が必要と考える。
2	4	2	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.8		
2	4	3	教員の組織体制を整備しているか	3.8		
2	4	4	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.1		
2	4	5	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか	3.1		
2	4	6	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	3.5		
2	4	7	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	3.1		
2	4	8	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3.2		
2	5	中 項 目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）			
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	3.4	3.5	
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	3.5		
2	6	中 項 目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）			
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	3.2	3	・AIの急速な進化に伴い、さまざまなアプリケーションやツールが開発されていることから、これらの情報を積極的に収集し、業務の効率化等に活用していくことが望ましい。

① 課題

多くの項目が 3.5～4.0 と比較的高い数値を示しているが、例年どおり、教職員の育成・研修領域項目（2-4-4, 2-4-5, 2-4-7）に数値の低さが集中している。理由として考えられるのは、研修に参加しているのが一部の教職員であり、時間的な制約もあることから、全体として体系的・計画的に進められていないことが大きな要因と思われる。教育の質向上に直結する領域になるので、この点が弱いのは大きな課題である。また、教職員と非常勤講師等との情報交換（2-4-8）については、定期的に情報交換は行っているものの、授業改善にまで結びついていない可能性がある。

その他、情報システム化による業務効率化（2-6-1）については、学生管理システムは導入されているが、主に出席管理、成績管理等で利用しており、事務職員にて入出力をしているため、業務の効率化を実感していない職員がいるための評価と思われる。ただ、システム内で入力情報の連動がされていない部分もあるため、今後システムの改善は必要である。

② 今後の改善方法

教職員の研修については、年間研修計画を策定し、面談と授業評価アンケートの結果を参考に、個々の教員に合わせた研修を個別設定すること。そして、オンライン研修を積極的に活用しながら、外部研修への参加を組織的に計画し行うことが必要と思われる。

教職員と非常勤講師等との情報交換については、急に授業改善の提案を非常勤講師に行うのは難しいので、学内での授業改善ミーティングを行い、非常勤講師向けの 授業ガイドライン を作成することから始めるのが良いと思われる。

情報システム化による業務効率化については、システムがより使いやすいものになるよう見直しを行うことが必要と思われる。

③ 特記事項

なし

令和8年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

3 教育活動				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
3	1	中 項 目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）			
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	3.6	3.75	
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6		
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	3.5		
3	2	中 項 目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）			
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	3.63	・ 授業アンケートの回収率向上に向け、学生がその意義を理解し、意見や理解度等を伝える機会として活用できるよう意識付けを図ることが必要と考える。 ・ 学生の意見や理解度等を継続的に把握し、授業改善につなげるため、実施方法や実施時期を工夫することが望まれる。授業ごとに簡易的なアンケートを実施することも一つの方法と考える。 ・ アンケート結果を授業改善に効果的につなげるため、結果のフィードバックの時期や方法について検討することが望まれる。
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	3.9		
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	3.4		
3	2	4	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に示され、授業で有効活用されているか	3.6		
3	2	5	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	3.6		
3	2	6	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	3.5		
3	2	7	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	3.3		
3	2	8	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	3.2		
3	2	9	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.3		
3	2	10	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	3.7		

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

3	3	中 項 目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）			
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.6	3.75	
3	3	2	学生や保証人に対し、成績評価・単位認定の基準、卒業要件はきちんと提示されているか	3.8		
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	3.8		
3	3	4	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	3.6		
3	4	中 項 目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）			
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.5	3.75	
3	5	中 項 目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）			
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	3.3	3.5	

① 課題

- 1) 各科目の一コマの授業について、シラバスの具体性が乏しく、教員間で共有されていない。
- 2) 教員によって、各回の授業内容や到達目標の記載にバラつきがある
- 3) 学生からの授業アンケート（3.5）の回収率が低いため、「教員へのフィードバックおよび授業改善への活用」（3.3）
- 4) 将来の看護師像や専門職業人の意識を高める「キャリア教育」が、教育方法として不足している。

② 今後の改善方法

- 1) 教員間で授業案を共有することで、学習内容のつながりを明確にし内容を精選する。
- 2) 学生からの授業アンケートの回収率を高める工夫を行い、アンケートで得られた意見を授業づくりに活用する。
- 3) キャリア教育を早期（1年次）から系統的に行うことで充実を図る

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

4学修成果・教育成果				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
4	1	中 項 目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）			
4	1	1	看護学科の修了時に、学修者の修熟状況をアセスメントしているか	3.3	3.5	
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	3.2		
4	2	中 項 目	就職率（就職率の向上が図られているか）			
4	2	1	就職率の向上が図られているか	3.4	3.75	
4	2	2	学生の就職活動に関する記録がなされているか	3.6		
4	2	3	対外部に向けた就職実績を公表しているか	3.7		
4	3	中 項 目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）			
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	2.7	3.08	・評価結果を踏まえ、今後さらなる取組の充実が必要と考える。 ・評価結果の検証や共有を行うことで、次年度に向けた具体的な改善点を明確にすることが望まれる。また職員による評価についても、より高い評価につながるよう継続的な改善を図ることが期待される。 ・就職先の病院等へのアプローチに加え、卒業生本人からも意見や状況を把握するなど、卒業生との継続的なつながりを活用した取組を検討することが望まれる。
4	3	2	国家試験結果に関して検証・報告がされたか	3.4		
4	3	3	国家試験結果（合格者数・合格率）を公表しているか	3.7		
4	4	中 項 目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）			
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1	3.25	

① 課題

- 1) 学生および教員からの学年別到達目標の評価は実施しているものの、評価項目の判断基準（ルーブリック）が曖昧である。
- 2) 国家試験の合格率が全国平均を下回っている
- 3) 看護基礎教育で身につけた知識や技術が入職後の看護実践に活かされているか否かの把握がされていない。

② 今後の改善方法

- 1) 評価項目の再検討および評価基準（ルーブリック）の整備を行う
- 2) 国家試験対策の体系化を強化する。
- 3) 講義・臨地実習で学んでいる内容が国家試験につながっていることを可視化させる。
- 4) 主要な就職先病院への「卒業生に関するアンケート調査」を実施し、病院から得られた評価や要望を、教育内容の再構築に活かす。

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

5 学生支援				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
5	1	中 項 目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）			
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	3.6	3.75	
5	2	中 項 目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）			
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	3.75	
5	3	中 項 目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）			
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	3.5	3.75	
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	3.7		
5	4	中 項 目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）			
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.8	3.88	
5	4	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	3.6		
5	5	中 項 目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）			
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	3.3	3.25	・欠席や成績不振について、早期に状況を把握し必要な支援につなげられるよう、対応方法の仕組み化について検討されたい。
5	6	中 項 目	保証人との連携（保証人との連携体制を構築しているか）			
5	6	1	保証人等と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	3.5	3.75	
5	6	2	保証人等との計画的な相談会・面談を行っているか	3.6		

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

5	7	中 項 目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）			
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	3.2	3.17	・学校との接点を持つことが難しい学生や卒業生への継続的なアプローチについて、従来の連絡方法に加え、SNS等の活用を含めた新たなコミュニケーション手段を検討することが望まれる。転居や連絡先の変更等があった場にもつながりを維持できるよう、在校生から卒業生まで気軽に学校と関わることのできる方法について考える必要がある。
5	7	2	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	2.8		
5	7	3	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.3		

① 課題

- 1) 欠席や成績不振、学修意欲の低下などの兆候を早期に捉えられない場合があり、中途退学者の低減が図られていない。
- 2) 卒業生への支援（キャリア支援、リアリティショックへの対応）が不足している。

② 今後の改善方法

- 1) 出席状況や成績、面談内容を定期的に確認し、支援が必要な学生を把握する。
- 2) 担任教員に限らず、メンターとしての役割を持った教員と面談ができる体制を構築する。
- 3) 卒業した1年目の看護師に対し、母校に帰ってかつてのクラスメートや先生方と交流することで、心身のリフレッシュを行い職場に適応できるように支援する。

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

6 教育環境				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
6	1	中 項 目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）			
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	3.2	3.45	・学習においてWebやLLM（GPT等のAI）の活用が進む中、業界誌や看護観を養うエッセイ等、幅広い知識や視点を得られる図書の充実と、その活用意義を学生に理解してもらうことが必要と考える。 ・図書については、学生のニーズを把握したうえで優先順位を検討し、学習に必要な資料を計画的に整備することが望まれる。 ・教育環境の充実に向け、設備・備品について優先度を考慮しながら計画的に整備を進めることが望まれる。
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	3.1		
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	3.3		
6	1	4	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	3.6		
6	1	5	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	3.7		
6	2	中 項 目	学外実習等（校外の実習等について、十分な教育体制を整備しているか）			
6	2	1	学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	3.6	3.75	
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	3.7		
6	3	中 項 目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）			
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.8	3.75	
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	3.8		
6	3	3	定期的に防災訓練を実施しているか	3.9		
6	3	4	学校における安全管理の整備を行っているか	3.8		

① 課題

1) 図書台帳は整備されているものの、学生のニーズや最新の蔵書が不足している

② 今後の改善方法

1) 図書台帳をベースに、毎年の購入予算を優先的に配分し、蔵書の検討をはかる

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

7 学生の受入れ募集				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
7	1	中 項 目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか）			
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	3.88	
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	3.8		
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	3.8		
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	3.7		
7	1	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	3.8		
7	1	6	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格、学費・教材費等の情報）を行っているか	3.8		
7	1	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	3.7		
7	1	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人等に案内しているか	3.7		
7	2	中 項 目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）			
7	2	1	校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	3.8	3.75	
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	3.7		
7	3	中 項 目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）			
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	3.6	3.67	
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	3.8		
7	3	3	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応しているか	3.8		

① 課題

学習教材の購入費等の明示については、入試説明会およびオープンキャンパス時の学費奨学金説明にて実績を案内しているが、学校案内等への明示も必要。

② 今後の改善方法

これまでの明示方法の他、学生募集要項へ実績を記載する。

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

8 教育の内部質保証システム				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
8	1	中 項 目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）			
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8	3.75	・ハラスメントについては、継続的な研修の実施が必要と考える。
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.7		
8	1	3	アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	3.5		
8	2	中 項 目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）			
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.7	3.75	
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	3.8		
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	3.7		
8	3	中 項 目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）			
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	3.7	3.75	
8	3	2	自己点検評価報告書にまとめているか（自己点検評価報告書があるか）	3.7		
8	3	3	自己点検評価の組織があるか	3.7		
8	3	4	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	3.7		

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

8	4	中 項 目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）			
8	4	1	自己点検評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	3.5	3.44	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.3		
8	4	3	自己点検評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3.4		
8	4	4	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3.4		
8	5	中 項 目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）			
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.6	4	
8	5	2	自己評価結果を公開しているか	3.5		
8	5	3	学校関係者評価結果を公表しているか	3.6		

① 課題

全体的に良い状況ではあるが、内部質保証の中でも最も低いのが、卒業後のキャリア追跡と教育改善（8-4-2：3.3）になる。

卒業生の動向については、卒業後すぐの時点では把握しているが、その後、転職、引っ越し等で動向を追うことができなくなる卒業生が多数いる。卒業後のアンケート調査を実施しても、回収がどの程度まで見込めるのかが問題となり、現段階で実施できていないのが現状である。よって、キャリア形成への効果を把握しきれず、教育改善にまで結びつかないのが課題である。

② 今後の改善方法

卒業後 6 か月・1 年・3 年と定期的で継続的な調査が必要と思われる。調査項目については、（例えば、①就職先 ②離職の有無 ③学校教育の役立ち度 ④必要だったスキルなど）今後、検討が必要。そして、収集したデータを授業改善・カリキュラム見直しに反映していく。

また、回収率を向上させる案の一つとして、SNS・LINE公式アカウント等を利用して、手軽に連絡、回答をとれるような体制作りが必要と思われる。

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

9 財務				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
9	1	中 項 目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）			
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	3.6	4	・教職員への説明に際しては、専門知識を持たない教職員にも分かりやすく伝わるようAIを活用した図表化など、説明方法を工夫することが望まれる。
9	1	2	年度予算が策定されているか	3.8		
9	2	中 項 目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）			
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6	4	
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.8		
9	3	中 項 目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）			
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	3.8	4	
9	4	中 項 目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）			
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	3.8	4	

① 課題

財務分野の評価結果は 全体として「適切～ほぼ適切（3.6～3.8）」で非常に良好である。事業計画については、毎年3月の理事会で承認後、学内ネットワーク上に公表している。予算額については、学園全体と学校単独の前年度の決算内容と今年度の予算については、教職員に説明する機会を設けており、財務状況を理解してもらうよう努めている。しかし一方で、教職員は、財務分野の書類を実際に目を通してはいる訳ではないため、実感が持てていない状態で回答している点が課題と思われる。

② 今後の改善方法

グラフや図などを用いて、一目でわかりやすい財務書類を作成する。

③ 特記事項

なし

令和 8 年度 北海道看護専門学校 学校関係者評価委員会評価

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

※ 評価基準 適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

1 0 社会貢献・地域貢献				評価	学校関係者 評価委員評価 (平均)	学校関係者評価委員の意見等
10	1	中 項 目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）			
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3	3.25	
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.3		

① 課題

- 1）実習先病院へのシミュレーター人形の貸出や看護職能団体に対する研修会場の提供などは行なっているが、積極的な開放や情報発信が十分とはいえない。
- 2）「次世代人材職業体験推進事業」に参画し、地域の計7中学校から39名の中学生を受け入れ、職業体験の機会を提供しているものの、その他の受託が不足している。

② 今後の改善方法

- 1）学校が社会貢献として発信すべき内容やあり方について教職員に広く知ってもらい、関心や実践につなげる。
- 2）地域の自治体や病院と連携をとりながら、新たな取り組みに柔軟に対応する。

③ 特記事項

なし